

## 豪商宅で茶道体験 松阪の魅力を知る

### 三重大留学生ら

松阪市観光協会は外国人観光客向けの新たな観光コースを作ろうと二十一日、三重大と四日市大で学んでいるドイツとネパール、スリランカの留学生九人をモニターツアーに招いた。参加者は歴史ある豪商宅や松阪牛に関連する施設を訪れ、松阪を堪能した。



茶道体験をする留学生ら＝松阪市の旧長谷川治郎兵衛家で

高等教育機関と地域の連携を促す「高等教育コンソーシアムみえ」と協会が共催。一行は江戸時代の豪商宅「旧長谷川治郎兵衛家」の離れで茶道を体験した。市茶道協会の後藤俊広会長(左)が「茶会のテーマは掛け軸や花を見て知る」と説明。留学生たちは、柿の実と赤い葉が描かれた掛け軸

や花瓶のツバキから秋を感じながら茶を味わった。

三重大のドイツ人留学生トアベン・シュテীগミュラーさん(右)は「伝統的な建物で庭を見ながらお茶を飲むのがすてきだった」と話した。この後、松阪牛を売っている精肉店を見学し、料理教室では松阪牛のしぐれ煮で巻きずしも作った。協会は留学生の反応を参考にする。

(清水悠莉子)